

---

# 特定非営利活動法人 わおん 令和6年(2024年)度 事業報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

---

こどもたちがもっと元気に輝く地域に！

NPO法人 わおん♪



〒399-0704 長野県塩尻市広丘郷原685

TEL : 0263-87-3005 FAX:0263-87-4024

E-mail : waon@npowaon.com

<http://npowaon.com>

わおん 松本平

検索



# 2024年度事業の成果・総括

- ・げんすけの森柏茂交流会館やハイジの森を会場に、主催事業で合計延べ897名に様々な体験活動を提供することができた。
- ・塩尻市こども未来課から「こども・若者いけんひろば」のワークショップの依頼があり、全3回をおこなうことができた。

## ♪事業の実施に関する事項

### ― 特定非営利活動に係る事業 ―

#### 1：環境と子どもに関わる体験事業

##### 1-1 わおん♪自然探検隊/主催事業

(子どもゆめ基金助成事業／2010年度より継続事業)

日程：

4月13日	第1回	入隊式 参加者37人 スタッフ10人
5月11日-12日	第2回	春のキャンプ① 参加者20人 スタッフ9人
6月8日-9日	第2回	春のキャンプ② 参加者16人 スタッフ10人
7月13日	第3回	外あそびの達人になろう 参加者28人 スタッフ7人
8月2日-3日	第4回	夏のキャンプ① 参加者12人 スタッフ9人
8月3日-4日	第4回	夏のキャンプ② 参加者15人 スタッフ10人
9月7日	第5回	ひみつ基地であそぼう 参加者26人 スタッフ7人
11月9日	第6回	秋の外あそび 参加者22人 スタッフ8人+4人
12月14日	第7回	里山のクリスマス会 参加者31人 スタッフ8人
1月18日	第8回	冬の森であそぼう 参加者24人 スタッフ8人

会場：げんすけの森柏茂交流会館、上小曾部転作促進研修センター

参加者：小学校3年生～中学校3年生 延べ231人（↓12人）※前年比

スタッフ数：延べ90人（↓11人）

事業収益：1,625,795円（↓565,344円）

（子どもゆめ基金728,195円、参加費収入897,600円）

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



成果：・2010年度から活動をはじめ、15年目となった。

- ・ファシリテーターやディレクターをいろいろな人が担当した
- ・探検隊を卒業した高校生がスタッフとして関わってくれた。
- ・ろうきんさんより、ボランティア参加の依頼があり、スタッフ4名にきてもらうことができた。

課題：・2025年度は、学校へのチラシ配布ができなくなったことにより、参加者が減る。今後のPRに工夫が必要。

## 1-2 森カフェプロジェクト（ハイジの森）/主催事業

（信州環境カレッジ2019年度～、緑の募金公募事業2023年度～

／2015年度より本格実施事業）

### ◆通常森カフェ

4月～3月 18回（↓3回）

参加者 0歳～保護者まで 延べ 96人（↓45人）

### ◆森カフェイベント：

ウェルネスウォーク

4月10日（水）参加者5名 / 5月24日（金）参加者7名

6月6日（木）参加者8名 / 7月2日（火）参加者8名

10月8日（火）参加者2名 / 11月14日（水）参加者5名

1月25日（土）参加者大人5名、こども1名

2月15日（火・祝）参加者大人4名、こども1名

実施回数：8回（↓6回） 参加者合計 48人（↓41人）

会場：ハイジの森（イベントは、上小曽部転作促進研修センターも利用）

事業費：

### ◆通常森カフェ

参加費：42,400円（↓23,000円）

### ◆森カフェイベント

参加費：166,210円（↑68,710円）

助成金：緑の基金 200,000円

成果：・森カフェの本格開催から10年目。

- ・通常の森カフェは、土日は他の事業と重なっても、なんとか森カフェを開催できている。
- ・事前予約を継続しておこなっている。今後も継続していきたい。
- ・森カフェイベントは、2024年度は、平日開催のウェルネスウォークを継続しておこなった。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



- ・リピーターがいて、すべての回を開催することができた。緑の基金を活用して実施し、内部講師の謝礼が払えるようになった。

課題：・通常森カフェは、土日、平日ともに参加者が減ってきている。PRが必要。

- ・平日の参加者開拓は、年度が変わるたびに必要になる。里カフェでPRしたり、子育て支援センターにチラシを置いてもらったりして、声掛けをしたい。
- ・森カフェイベントは、他の単発企画は行わなかった。助成金がなくなっても成り立つようにしていきたい。

### 1-3 県外・市外の子どもたち向けのキャンプ実施

#### ◆わおん♪キャンプの実施/主催事業

##### (2017年度より継続事業)

- 4月20日(土)-21日(日) 動物キャンプ  
参加者 12人 保護者 1名 スタッフ 6人
- 4月27日(土)-28日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ  
参加者 15人 保護者 3人 スタッフ 7人
- 5月25日(土)-26日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ  
参加者 10人 スタッフ 6人
- 6月22日(土)-23日(日) わおん♪アナログゲームキャンプ  
参加者 18人 スタッフ 7人
- 7月21日(土)-22日(日) わおん♪川あそびキャンプ  
参加者 18人 保護者 1名 スタッフ 9人
- 7月27日(土)-28日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ  
参加者 14人 保護者 3人 スタッフ 6人
- 8月17日(土)-18日(日) わおん♪クラフトキャンプ  
参加者 9人 保護者 2人 スタッフ 7人
- 8月24日(土)-25日(日) わおん♪川あそびキャンプ  
参加者 20人 保護者 1人 スタッフ 11人
- 9月21日(土)-22日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ  
参加者 21人 スタッフ 7人
- 9月28日(土)-29日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ  
参加者 10人 保護者 4人 スタッフ 8人
- 10月19日(土)-20日(日) わおん♪アウトドアクッキングキャンプ  
参加者 11人 スタッフ 8人
- 3月29日(土)-30日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ  
参加者 22人 保護者 1名 スタッフ 8人

会場：げんすけの森柏茂交流会館

実施回数：12回（↓1回）

事業収益：参加費 3,061,700円 （↓783,900円）

参加者 180名（↓46人）、保護者16人（↑8人）

スタッフ数：延べ90名（↓26人）

※ひとり親家庭福祉事業補助金を活用し、ひとり親の参加者は補助金活用により参加費の補助をおこなった（4件）。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



成果：・継続して、松本市・塩尻市・岡谷市・辰野町と各教育委員会の後援をとり、岡谷市・辰野町の小学校にチラシを児童全員に配布し事業の告知を行った。

・高校生スタッフが手伝ってくれた。

課題：・2024年度のキャンプは、定員を割るキャンプが6本あった。

・学校へのチラシ配布の状況が変わりつつある。塩尻市は、デジタルでの配信に切り替わるようになった。松本市は基本的には配布はしない方針となっている。各学校にチラシを送り、学校によっては配布してくれている。2025春・初夏編は、新たに安曇野市の小学校に全員配布をした。

・年間を通してスタッフ集めに苦戦した。キャンプの本数を無理のないように調整したい。

#### 1-4 塩嶺体験学習の家／受託事業：塩尻市教育委員会

##### (2011年度より継続事業)

内容：6月4日、9月1日→台風のため中止

10月29日、11月26日 こども未来塾リーダー研修の運営

事業費：573,815円（委託）（↓46,882円）

会場：塩嶺体験学習の家

成果：・2011年度より継続して事業が実施してきた。当初より業務内容が変更になっており、こども未来塾リーダー研修のみをおこなっている。2024年度は、9月が台風により中止となり、委託金額が減額となった。

#### 1-5 こどもしおじり／受託事業：塩尻市市民交流センター

##### (2016年度より継続事業)

内容：

2月8日（土）・9日（日） 第9回こどもしおじりの開催

参加者数：147名（8日 145名、9日 142名）

専門家 8日50名 9日39名

ガイドツアー参加者（保護者）：20人

当日スタッフ 8日70人 高校生56名、大学生8人 社会人6人

9日47人 高校生34名、大学生5人 社会人8人

コアスタッフ 10名

準備スタッフ 3名

お仕事 35ブース、アカデミー 9ブース

事業費：1,427,800円（委託）（↑10,450円）

成果：・定員150名として開催し、アプリやWEB広報が中心となったが、参加者が集まった。

・2024年度も、過去にこどもしおじりに参加したことがある高校生がスタッフとして参加してくれた。スタッフの公式LINEを活用し情報を発信し、少し連絡調整が楽になった。

課題：・公式LINEで連絡をとりあったが、2名は連絡がうまくとれなかった。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



## 1-6 里カフェぽっかぽか/主催事業

(元気づくり支援金2021年度～／2021年度より継続事業)

### ◆里カフェぽっかぽか

4月～3月 延べ23回(↑2回)

参加者 延べ131組291人(↓25組58人)

### ◆日程：

4月11日(木)	参加：10組21人
4月17日(水)	参加：3組7人
5月7日(火)	参加：2組4人
5月15日(水)	参加：3組7人
6月3日(月)	参加：8組19人
6月19日(木)	参加：5組12人
7月4日(木)	参加：10組22人
7月17日(木)	参加：9組21人
8月6日(火)	参加：5組11人
8月21日(水)	参加：5組12人
9月9日(月)	参加：3組7人
9月18日(水)	参加：4組9人
10月3日(木)	参加：4組9人
10月16日(月)	参加：6組12人
11月5日(火)	参加：7組16人
11月20日(水)	参加：9組20人
12月12日(木)	参加：8組18人
12月16日(水)	参加：7組16人
1月15日(水)	参加：2組5人
1月28日(火)	参加：9組18人
2月4日(火)	参加：5組10人
2月19日(水)	参加：4組8人
3月6日(木)	参加：3組7人
3月19日(水)	雪のため中止

事業費：参加費：125,800円 (↑23,650円)

助成金：塩尻市社会福祉協議会 ボランティア活動補助金

成果：・4月から3月まで月2回のペースで通年実施した。リピーターの参加者も多く、大勢に参加してもらうことができた。庭で焚き火をしたり、近くの森に散歩に行ったり、水遊びや雪遊びなど、自然に触れる機会をもちながらのんびり過ごせ、良い雰囲気でも過ごしていただけている。

課題：・継続して参加していた参加者は、年度が変わって保育園に通う子どもが多く、新年度は新しい参加者開拓が必要になる。

・地域の人との交流ができるようにしていけるとよい。来年度は、第3水曜日は固定し、フードバンク事業とともに地域の人との関わりがもてるような機会になるきっかけづくりをしたい。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



## 1-7 わおん♪自然ぷち探検隊/主催事業

### (子どもゆめ基金助成事業/2022年度より実施)

5歳～小学校2年生までを対象に、ハイジの森で自然体験活動を実施する。

7月14日(日) 自然のなかでみつけよう!

参加者 こども5人 保護者3人 スタッフ4人

9月8日(日) いきものをさがそう!

参加者 こども5人 保護者1人 スタッフ4人

11月10日(日) 秋の森でアートしよう!

参加者 こども8人 保護者5人 スタッフ4人

1月19日(日) 冬の森で遊ぼう!

参加者 こども6人 保護者2人 スタッフ6人

会場:げんすけの森柏茂交流会館、上小曾部転作促進研修センター

参加者:5歳～小学校2年生 延べ24人(↓34人)、保護者 延べ11人(↓10人)

スタッフ数:延べ18人(↓6人)

事業収益:185,362円(↓188,988円)

子どもゆめ基金137,292円(↓150,708円) 参加費収入48,070円(↓38,280円)

成果:・3年目の活動で、参加者が少ないながらもなんとか実施することができた。

課題:・塩尻市内の小学校へチラシが配布できなくなり、アプリでの配信となった。  
その影響で、参加者数が激減した。参加者集めを工夫して、参加者こども10人以上を確保しないと、助成金の額も大幅にすくなくなってしまう。

## 1-8 出前イベント/受託

日程:

6月17日 波田小学校 内容:自然体感プログラム

8月7日 松本市エコスクール

8月12日 上小曾部夏祭り 内容:道具貸し出し、写真スライド

8月29日 開智小学校 内容:自然素材で簡単工作

9月28日、10月20日、11月10日 しおじり こども・若者いけんひろば

9月19日 桔梗小学校

11月3日 郷福寺 お寺マルシェ 内容:昔あそび

11月4日 まめまめの会 内容:森遊び、クッキング、ルームコロソ作り

5月1日、29日、6月29日、7月31日、8月28日、9月25日、10月23日

11月13日、12月11日、2月12日、3月5日、26日(12回 ↓10回)

沢村児童センター 内容:昔あそび、運動遊び、外あそびの達人講座

事業収益:受託金額 281,959円 (↓107,299円)

成果:・沢村児童センターからは、継続して年間を通じて依頼をいただいている。今年度は予算が減ったとのことで月1回となった。

・宗賀児童館、ジュニアリーダー養成講座は、中止となった。学校からの依頼は、松本市内から2件、塩尻市内から1件あった。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



課題：・受託件数は減っている。依頼元の状況や方針によって依頼数が変わってくるので、依頼があれば対応していくしかない。新しいところの開拓はなかなかできないが、いろいろな活動からのつながりで新規での依頼があるかもしれないので、地道に活動していく。

## 2：体験事業に関わる普及交流事業

### 2-1 げんすけ祭り/主催事業

(市民交流センターを活用した交流企画事業/2010年度より継続事業)

実施せず

### 2-2 各種交流会（げんすけBar、lunch、お茶会）

5月6日 ピザ会 参加者 大人10名、こども3名

12月14日 忘年会 参加者 大人7名、こども1名

成果：体験活動のサポーター不足を解消するためにも、わおんの活動に関心のある人が集まる機会を作ることが大事と考え、交流会を実施することができた。

課題：参加者数が少なかったのは残念だった。

### 2-3 出張げんすけ+げんすけ縁日／コラボ企画・ブース出展

日程：

9月14日 森のフェスティバル 収益：19,300円

9月21日 ひらいで遺跡まつり →不参加

10月12日 木育フェスティバル ※1日のみの参加 収益：11,600円

11月16日 外あそびフェスティバル 収益：29,800円

3月1日 しおじりまちづくりフェスティバル 収益：1000円

ブースでの実施内容

クラフト（バードコールづくり、小鳥のキーホルダー、万華鏡づくり 500円）

たき火関係（スモア100円）

クラフトグッズ、げんすけグッズの販売

事業収益（合計）：61,70円（↑31,300円）

内容：受託 0件（→）、自主的に参加 4件（↑2件）

成果：イベントに4つ参加できた。3月1日のまちづくりフェスティバルでは、自然探検隊とわおん♪キャンプの参加者募集のPRをすることができた。

課題：日程があわなかったものには参加できなかった。げんすけの出演依頼がゼロだった。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に





## 2-4 全国森カフェプロジェクト推進チーム（出張森カフェ／コラボ企画）

日程：

10月13日 国営アルプスあづみの公園  
3月20日 国営アルプスあづみの公園

成果：継続して、国営アルプスあづみの公園で出張森カフェを実施した。出張森カフェの依頼があれば対応していく。

課題：新しいところからの依頼の開拓がなかなかできない

## 2-5 里山子育て・子育てセミナー・フォーラムの開催/主催事業

開催なし

## 2-6 関係ネットワークへの参加

### ◆信州外あそびネットワーク

4月4日  
5月22日 本部会議@オンライン  
7月4日  
7月6日 オンラインサロン  
「自転車と教育・環境・健康・観光で考える町づくり」  
9月26日 リスクマネジメント基礎講座@オンライン  
10月9日 外あそびフェスティバル打ち合わせ@オンライン  
11月7日 フェス打ち合わせ@オンライン  
11月16日 外あそびフェスティバル  
12月12日 本部会議@オンライン  
2月19日 新年会 不参加  
2月20日 外あそびネットワークの総会に参加  
※信州外あそびネットワークの副代表を担当  
※信州外あそびネットワーク事務局として会計を担当  
※信州外あそびネットワークの住所をわおん内に置いている

### ◆木育フェスティバル実行委員会

9月14日 森のフェスティバルに参加  
10月12日 木育フェスティバルに参加  
※実行委員会に参加

### ◆地域づくりネットワーク

やまびこネットワークに加入  
松本支部の支部長を担当／県協議会の副会長に就任  
地域活性化センター賛助会員

6月13日 幹事会に参加  
6月20日 松本支部 総会に参加  
8月29日 幹事会に参加  
11月27日 支部活動に参加  
3月26日 幹事会 欠席

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



◆松本地域子ども応援プラットフォーム

- 4月19日 三役引継ぎ会
  - 4月25日 運営委員会
  - 5月30日 総会
  - 6月13日 贈呈式
  - 7月18日 第2回 運営委員会
  - 10月24日 第3回 運営委員会
  - 11月14日 交流会 活動紹介×交流  
「ネットワークで信州の子どもの未来を創る」
  - 2月27日 子どもの居場所のための助成金セミナー、打ち合わせ
  - 3月13日 第4回 運営委員会
- ※松本地域子ども応援プラットフォーム 運営委員を担当

◆中信地区環境教育ネットワーク（eenet）

- 6月27日 総会
- ※HP更新担当

◆NPO法人自然体験活動推進協議会（CONE）

- 会員登録
- 2月13日 CONE保険加入者ミーティング

## 2-7 体験拠点の管理 （2020年7月～所有）

◆げんすけの森柏茂交流会館

- 修繕関係  
お風呂ボイラーの修理
- その他  
11月18日 塩尻消防署 立ち入り検査  
宿泊旅行統計調査が終了  
げんすけの森 柏茂交流会館のホームページの維持  
<https://sites.google.com/npowaon.com/hakumo>  
予約カレンダーの更新  
げんすけの森 柏茂交流会館のパンフレットの配布  
防火管理者の変更（荻場美穂子→山田勇）

●施設貸出

- |           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 5月2日-5日   | 信州大学シミュレーションゲーム08会 宿泊利用15名 |
| 7月16日     | 洗馬子育てサロン 日帰り利用             |
| 7月15日     | NPO法人MEGURU 日帰り利用          |
| 9月6日      | 塩尻市振興公社 日帰り利用              |
| 9月15日-16日 | 個人宿泊利用 19名                 |
| 10月7日-12日 | あおぞら園 宿泊利用14名              |
| 11月4日     | まめまめの会 日帰り利用、プログラム利用       |

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



●備品貸出

施設利用時に備品の貸し出し 実績 1 回  
わおんの主催事業の際に寝袋レンタルをおこなった

事業収益：373,160円（施設貸出）（↓314,410円）利用件数：7件（↓5件）

72,930円（備品貸出）（↓1,870円）

成果：・施設利用は7件あった。前年より5件減った。リピート利用の団体が3件あった。平日の日帰り利用が2件新しく入った。

- ・施設利用とあわせてのプログラム利用が初めてあった。
- ・わおんの主催事業の際に寝袋レンタルを実施できた。

課題：お風呂のボイラーの減圧機が故障し、修理費がかかった。

### 3：体験事業に関わる指導者育成事業

#### 3-1 森カフェコーディネーター養成講座/主催事業（2015年度より実施）

#### 3-2 サポーター向け勉強会

7月6日 サポーター養成講座 9人

成果：久しぶりに養成講座を開催することができた。

課題：参加者があまり集まらなかった。養成講座をおこないスタッフを増やすのは難しい。

#### 3-3 体験活動に関心のある人を対象にした勉強会

未実施

### 4：地域の情報収集発信事業

#### 4-1 メールマガジン発行・公式LINE

●メールマガジン

2023年4月～2024年3月 登録 662人（↑68人）

月1回発行、お知らせがあるときは臨時号を発行

●公式LINE（2025年3月～）登録 25人

#### 4-2 活動の動画配信

未実施

#### 4-3 げんすけがゆくの発行

未実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



## 5：地域の物産開発ならびに販売事業

### 5-1げんすけグッズ/FR

げんすけのポロシャツやTシャツの追加注文をした  
希望者にサイズ、カラーのオーダーを受けてから発注

#### ◆塩尻市内の店舗での販売

モナミ美容室、温（ぬっく）、木曽地場産センター  
収益：地場産センター 1,570円 （↓11,990円）

#### ◆イベントでの販売

収益：1,350円（↑1,350円）

事業収益：24,310円（↑2,650円）

### 5-2こどもたちの元気の源「ブランド」づくり/FR

未実施

## 6：地域課題解決のための企画運営事業

### 6-1 出前イベント（ワークショップ）

依頼がなかったため、未実施

### 6-2 こども企画会議

9月29日 第1回 こども若者いけんひろば

10月20日 第2回 こども若者いけんひろば

11月10日 第3回 こども若者いけんひろば

成果：新規で、塩尻市こども未来課から「こども・若者いけんひろば」のワークショップの依頼があった。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



# — NPO法人の運営 —

## 1：理事、事務局の対外的な活動

- ・講師

- ・委員会・会議出席

塩尻市社会教育委員（理事長 山田勇）

EP0中部協働コーディネーター（理事長 山田勇）

塩尻市環境審議委員（理事長 山田勇）

塩尻市社会福祉協議会評議員（理事 荻場美穂子）

- ・その他

市民タイムス リレーコラム「のんびりあそぼう」掲載（理事長 山田勇）

一般社団法人 日本NPO環境ネットワーク 事務局

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



## 2：法人内での活動

2024年度の変更点

### ・会議

◆総会 5月6日 通常総会 @柏茂交流会館

◆理事会 4月7日 理事会 @えんぱーく

### ・広報

ホームページをリニューアル

トトモニの取材を受け、表紙に掲載された（2024年3号）

パンフレットの配布、X・Facebook・Instagramの更新

公式LINEの作成

松本市へのブース出展、コラボ企画等を実施→未実施

### ・ファンドレイジング

げんすけグッズの販売

### ・会員向けサービス

会員オリジナルげんすけカード（会員証）を発行

わおん♪会員通信を3ヶ月に1回発行

森カフェへの参加割引

### ・会員募集

イベント受付の際などPRしたり、積極的にお誘いするようにした

### ・管理（顧客・備品）

会員管理をセールスフォースで実施中。

イベント参加者 Notion

備品管理 Notion

サポーター情報を管理できるようにツールを検討中。

### ・会計、税務

引き続き、会計王を活用。

事務局は3ヶ月ごとにチェックした。

講師謝礼、給与に関して、源泉徴収を実施している（2016年1月～）

住民税は特別徴収を実施

PAYPAYの決済を導入した（2019年8月～）

square決済の導入（2024年度～）

### ・労務事務（法人事務）

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



社会保険への加入（2015年12月～）

・ **その他事務**

書類データ：Googleドライブ 写真データ：box

遠隔会議：google meet／zoom 、日々の情報共有：Slack →実施

顧客情報等：セールスフォース、Notion

備品管理 Notion

タスク管理：Evernote →実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に

